

平成 29 年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	国府中学校
-----	-------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典には様々な種類があることを理解し、興味関心が高い。 ・ 話すこと、聞くこと、読むこと。 ・ 行書と楷書の違いを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語 B の記述式問題のように条件が多く、問題の意図を理解するために時間がかかる問題については諦めが早く無回答が多くなる。
算数/数学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錯覚の位置にある角を求める。 ・ 資料から適切な値を選ぶ。 ・ 等式を変形する。 ・ 傾きと切片から一次関数の式を表す ・ 計算の決まりに従って計算する・四則計算の意味を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相対度数を求める。 ・ グラフの特徴を説明する。 ・ 数量の関係を文字式で表す。 ・ 立体の対角線の長さを読み取る。 ・ 回転移動を説明する。

質問紙	<p>○ 自宅で学校の宿題や授業の予習をしない生徒が多いが、学校の授業より進んだ内容や難しい内容を学習塾（家庭教師を含む）で勉強している生徒が多い。</p> <p>△ 家で学校の宿題をしない、学校の規則を守らない、人の役に立つ人間にならないという割合が高い。</p> <p>△ 授業の最後に学習内容を振り返る活動や授業の目標を示すことが不足していた。</p>
-----	---

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・ 新単元に入る際に既習事項を必ず確認する時間（復習）を取り入れたたり、随時小テストを実施したりすることで基礎基本の定着を図る。 ・ 少人数指導や T T 指導等単元や生徒の学習状況に応じて指導体制を整える。 ・ 互見授業等授業改善に向けた研修を重ねる。 ・ タブレットなどの ICT 教材や画像等の視聴覚教材の整備や充実を図るなど、教材教具の工夫改善に努める。
--

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者と連携し、基本的生活習慣の確立を呼びかけ家庭学習の習慣化を図ることで、学ぶことの意味や理解することの楽しさに気づき、「自ら学び続ける生徒」の育成に努めます。
